

TOTO

クリーンドライ 高速埋込タイプ



TYC310N

製品の機能が十分発揮されるように、この説明書の内容にそって正しく取付けてください。取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。製品にはお客様用として、取扱説明書（保証書付）が同梱されています。工事完了後は必ず付属の保証書に、店名及び取付日等を記入してお客様にお渡しください。

1 安全上のご注意（安全のために必ずお守りください。）

取付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

- この説明書では機器を安全に正しく取付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示の意味は次のようになっています。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると人が傷害を負う可能性または物的損害を生じる可能性があることを示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	禁 止
	分解禁止
	必ず行う
	水場使用禁止
	アースを接続せよ

警告



電源工事は電気工事業者に依頼し、電気設備基準や内線規定に従って、確実に行ってください。
誤った電気工事は、感電、火災の原因となります。

電源には漏電遮断器を取付けてください。
故障や漏電の際に、感電するおそれがあります。

警告



必ずD種接地工事を行ってください。
アース線は本体のアース端子に接続してください。
感電のおそれがあります。



製品の改造や分解をしないでください。
感電、火災、けが、故障のおそれがあります。



屋外や浴室など湿気の多い場所や直接水のかかる場所には取付け
ないでください。
漏電して、感電、火災または故障のおそれがあります。



AC100V以外では使用しないでください。
電源は、単相100Vを印加してください。
200Vを印加すると製品（基板）が故障します。

注意

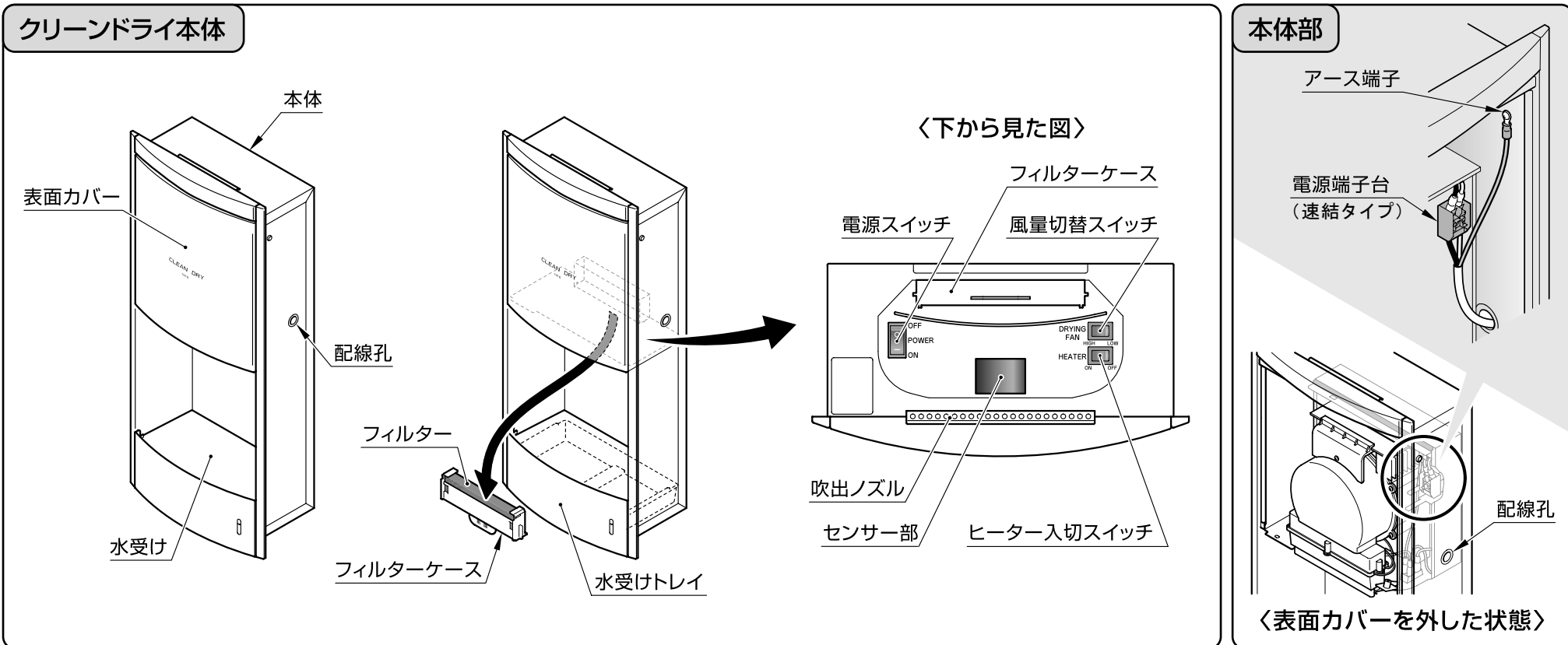


固定枠の固定を確実に行ってください。
本体が外れけがをしたり、破損するおそれがあります。

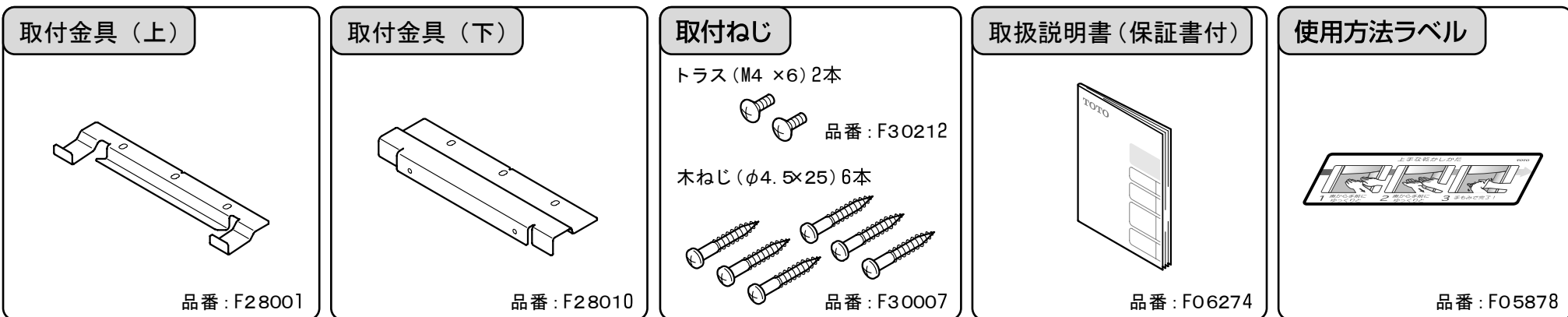


腐食性ガスや可燃性ガスなどの雰囲気中には取付けないでください。
製品内部の機器が故障し、誤動作するおそれがあります。

2 部品の確認及び各部のなまえ



付属品



3 施工方法

この施工方法はあくまで新設の場合を基準に作成しております。

3-1 施工前の注意

警告

電源工事は電気工事業者に依頼し、電気設備技術基準や内線規定に従って確実に行ってください。

誤った電気工事は、感電、火災の原因となります。

電源には漏電遮断器を取付けてください。
故障や漏電の際に、感電するおそれがあります。

必ずD種接地工事を行ってください。
アース線は本体のアース端子に接続してください。
感電のおそれがあります。

■ 定格15A・AC100Vの漏電遮断機を単独で設置してください。

※ 電源は、単相100Vを印加してください。200Vを印加すると製品（基板）が故障します。

3-2 電源線の施工方法

1 スイッチボックスの埋込みと配線

● スイッチボックス（JIS C 840）を壁面に埋込み、電源線とアース線（いずれも600Vビニル絶縁電線、またはVVFケーブルφ1.6またはφ2.0の単線）を配線します。

※600Vビニル絶縁電線（より線）の場合、電源端子台（速結タイプ）への接続には、絶縁被覆付圧着端子（松下電工製WV2500/WV2501）をご使用ください。また電源のリードの長さは500mm以上とっておいてください。

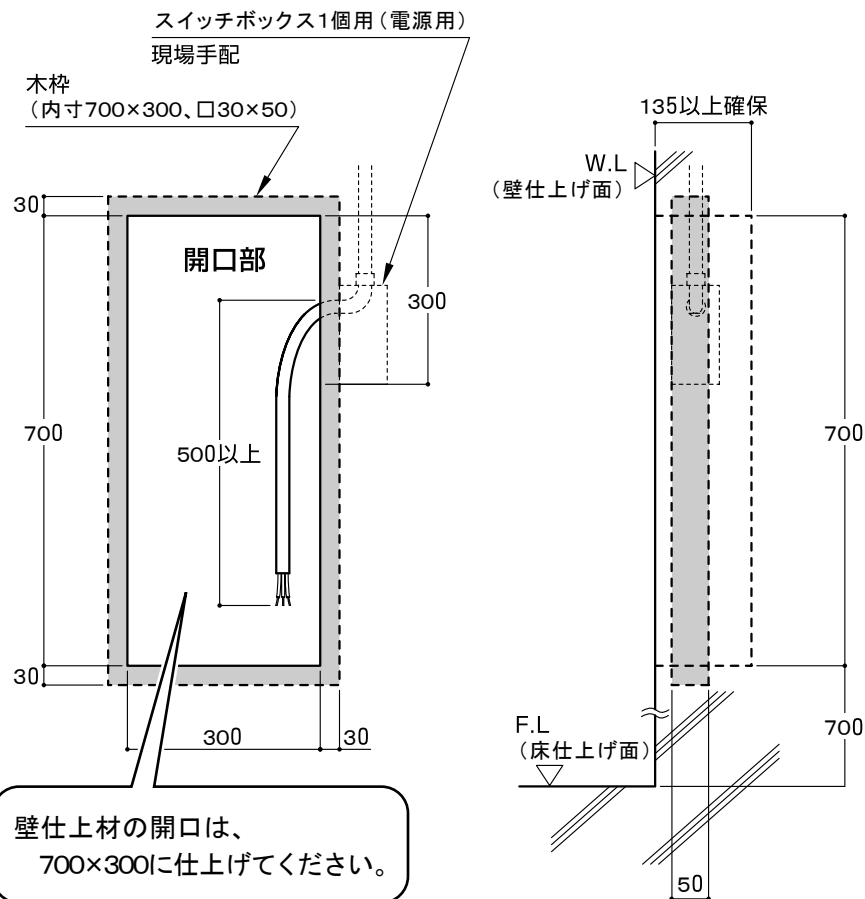
● スイッチボックスの取付位置は、「2 固定枠の位置決め」を参照してください。

2 固定枠の位置決め

注意

既設壁へ取付けの際、□30×50の木枠使用の場合、H760×W360×D130プラスα（スイッチボックス等）の壁はつりが必要となります。

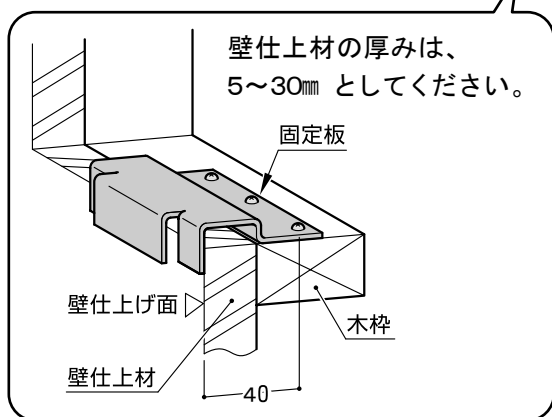
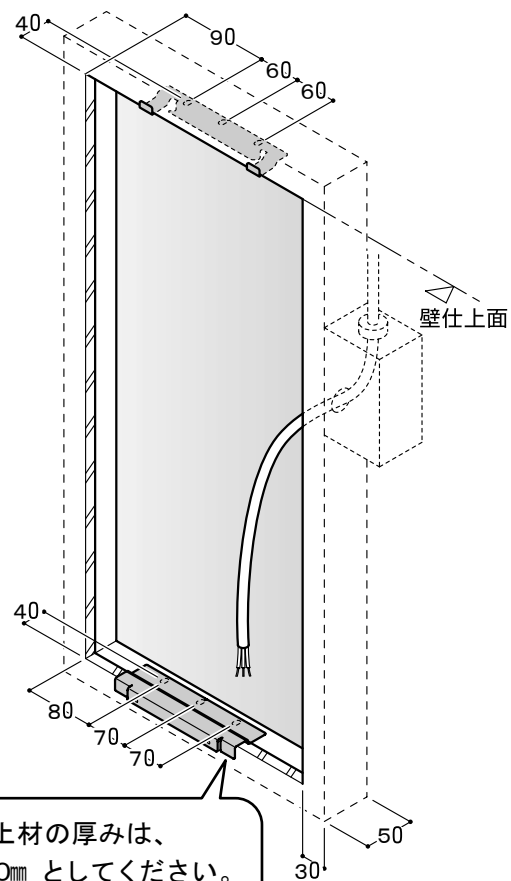
● 木枠TYC501（別売品、内寸700×300、□30×50以上）を壁の下図の位置に固定します。



※奥方向へは埋込代を135以上確保ください。

3 取付金具の取付け

- 木枠の上辺及び下辺の右図の位置をけがき、固定板用の下穴(φ3.5、深さ25以上)を開け、同梱の取付金具(上及び下用)を木ねじで止めます。



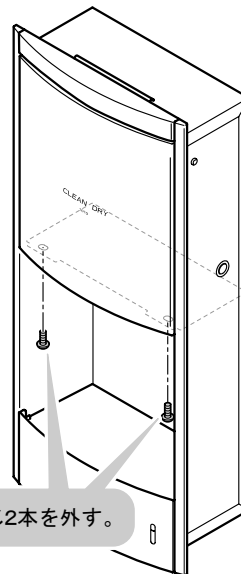
4 電線の引込み



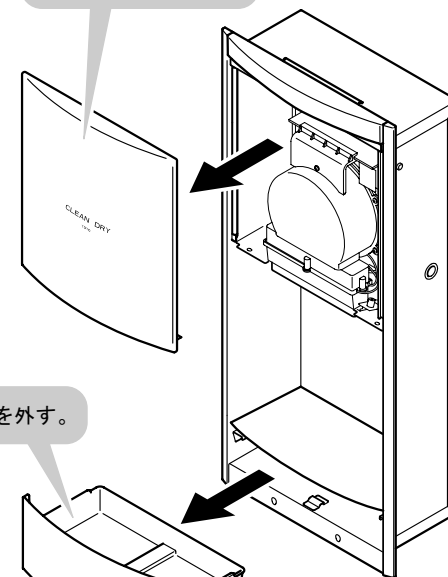
注意

必ず電源スイッチを「切」にして、ケースカバーを取外してください。
感電のおそれがあります。

- ① クリーンドライの表面カバー・水受けトレイを外します。



- ② 表面カバーを外す。

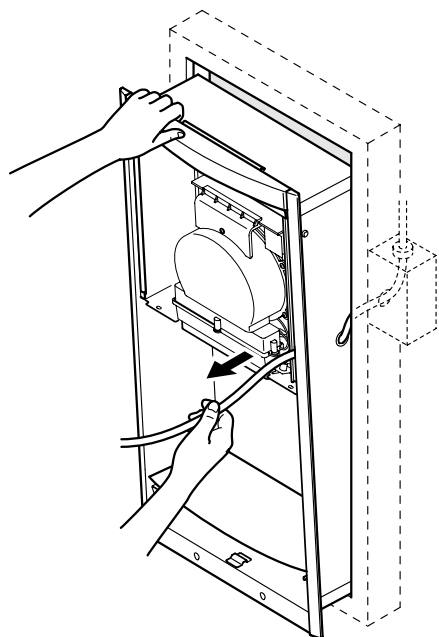


4 電線の引込み(つづき)

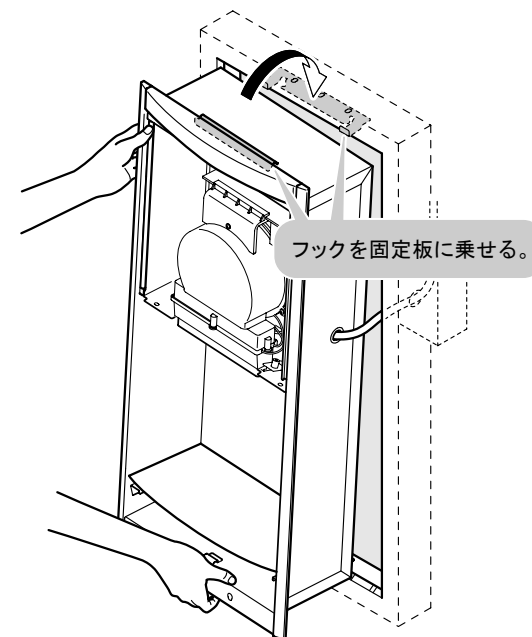
- ② 本体を開口の下辺部に仮置きし、電源及びアース線の先端に結んだ細いヒモを右側面にある配線孔に通します。



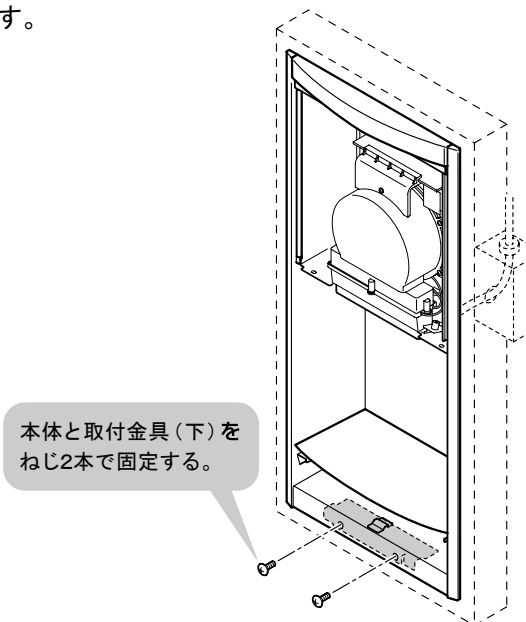
- ③ 電源及びアース線を引き込みます。



- ④ 本体を持ち上げながら、額縁裏にあるフックを取付金具(上)に乗せ仮固定します。



- ⑤ 本体下部の穴(貫通)2カ所に同梱のねじ(M4)を通し、本体を取付金具(下)に固定します。



5 電源線の接続について

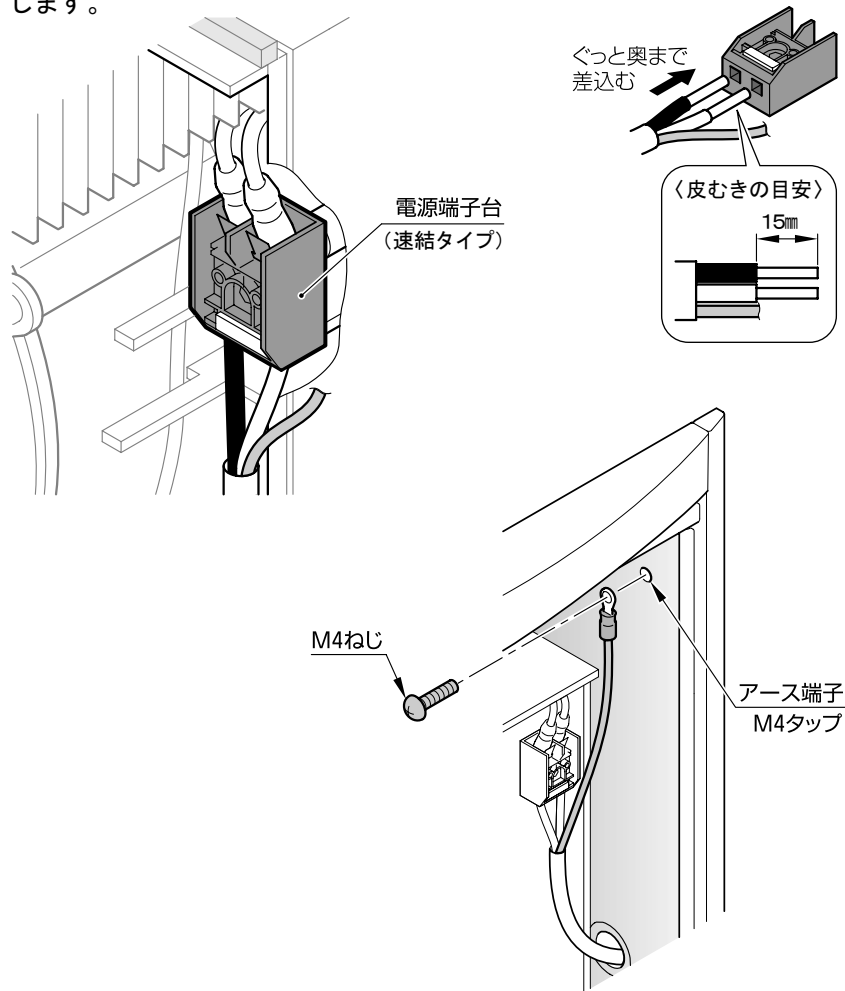


警告

必ずアース線をアース端子に接続してください。
感電のおそれがあります。



- 本体内に引込んだ、電源線とアース線を電源端子台及びアース端子に接続します。

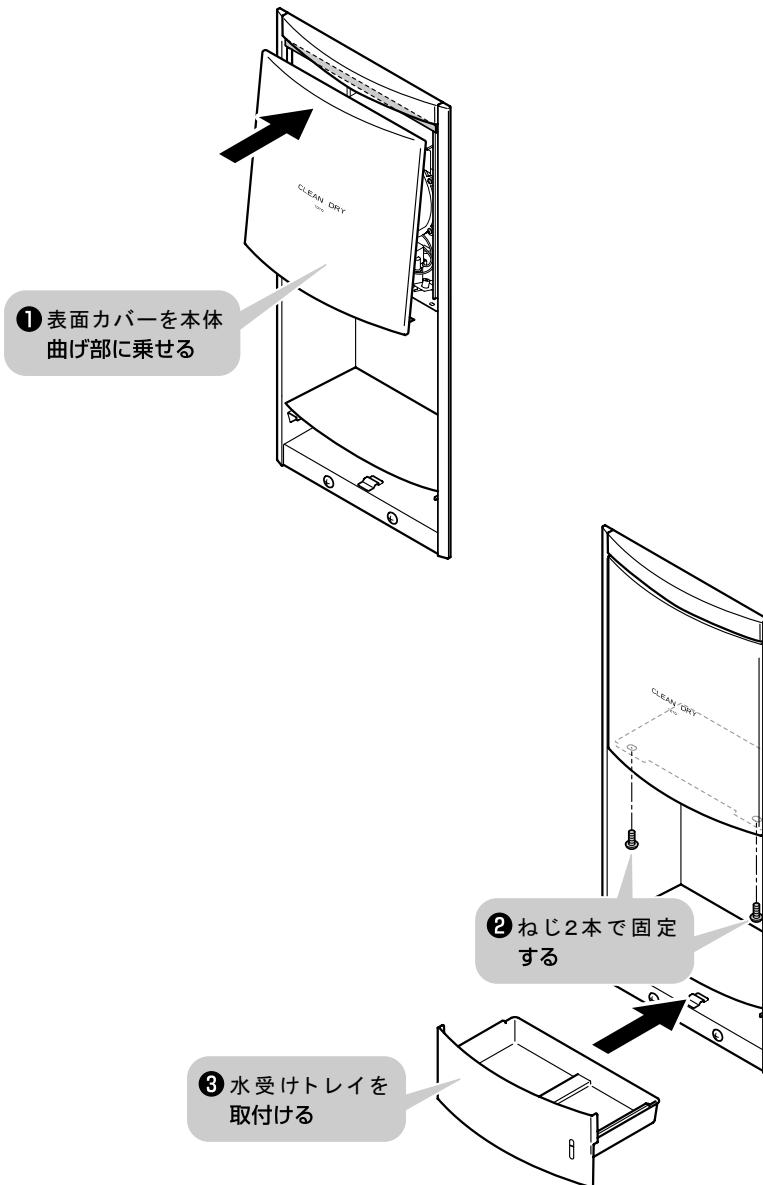


※600Vビニル絶縁電線(より線)の場合は、絶縁被覆付圧着端子(松下電工製 WV2500/WV2501)を使用し電源端子台に差込んでください。

アース線は丸型圧着端子(JISC2805)を使用し、アース端子に接続してください。

6 表面カバー・水受けトレイの取付け

- 表面カバーを本体上の曲げ部(水切部)に乗せて、下の2カ所をねじ止めします。
水受けトレイを取付けます。



4 試運転

■ 施工が完了しましたら、以下の方法で試運転を行ってください。

1. 電源の投入

- ・ 屋内電源のブレーカーを「入」にしてください。

2. 電源スイッチの確認

- ・ 電源スイッチを入れてください。

3. 動作の確認

- ・ 吹出ノズルの下に手を差出し、風が吹出すことを確認してください。

4. 風量切替スイッチ、ヒーター入切スイッチの確認

- ・ 風量切替スイッチ及びヒーター入切スイッチを操作し、モードが切替わっているか確認してください。

※切替操作は、運転が完全に停止してから行ってください。

■ 試運転の後は

- ・ 試運転での動作確認が終了しましたら、同梱の「取扱説明書（保証書付）」をお客様に渡し、製品の使い方について説明してください。